

嘉麻市社協だより

えがぁ

No.185

発行日:2026.2.1



うま〜くいく一年を祈り
〜新しい年に彩りをそえる正月飾り〜



〜平第一行政区ふれあいサロンのみなさん〜

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒821-0012 嘉麻市上山田502番地6

TEL 0948-43-3511 FAX 0948-43-3450

 <https://kama-shakyo.com>

 info@kama-shakyo.com

 <https://www.facebook.com/kama.swc>

※QRコードから、本会のホームページにアクセスすることができます。



Aさんが考える終活

「認知症予備軍と言われて」

一年前の春、夫と娘たちに勧められて物忘れ外来を受診したAさん（78歳）。血液検査やCT検査、認知機能テストを受け、医師から認知症予備軍と言われました。家族から「さつき言ったやん」と言われることは増えていたものの、自覚症状のなかったAさんにとっては、困惑した出来事でした。数年前から、夫と人生の最期について話し合ってきたAさんは、より具体的な行動に移さなければならぬと思ったそうです。Aさんがどのような終活を実践しているのか話を聞きました。

Q 家族構成を教えてください

A 夫と二人暮らしです。娘が二人と息子が一人いますが、それぞれに家庭を持ち、市内と県外で生活しています。私が亡くなったら、相続人は夫と三人の子どもたちです。

Q 認知症予備軍と聞いてどう思いましたか？

A 久しぶりに出かけた家族旅行で、いつもと違う私の様子を心配した長女が、夫に受

かったり、5分前に見せられた鉛筆が思い出せず、戸惑いました。母が認知症だったので、私もそうなのかもしれないと思うと怖くなりました。認知症予備軍と聞いてから数日間は、不安で気持ちが沈んでいましたが、これ以上悪くならないようにするにはどうしたら良いのかと考えるようになりました。

Q 進行しないためにどのようなことに気をつけていますか？

A 夫との二人暮らしなので、単調な毎日です。そのため、週に3日は次女宅に行き、次女が仕事から帰ってくるまでに夕食を作り、孫の宿題を見てあげるようにしています。おやつを食べながら、学校であった話を聞き、楽しく過ごしています。また、夫と散歩もするようにな

りました。お気に入りのジャージに着替え、運動靴を履いて、季節を感じながら汗をかく。体重も意識して、テレビで見た健康豆知識を話しながら歩いています。その他にも、携帯で脳トレゲームを楽しんでいます。毎日何らかの用事を一つ決めて外出することが目標です。

Q ご家族の反応は？

A 夫の心配症が更にひどくなりました。私が失敗しないようにあれこれ世話をしてくれませんが、「私は子どもじゃないのに、これくらいできるよ」と、強く言ってしまうことがあります。子どもたちは、私が楽しく過ごせるように、新しいゲームアプリを教えてくれたり、一緒に買い物に出かけたり、ちよつと疲れた夫を助けてくれたりと、支えてってくれています。

Q これまでに行なった終活を教えてください

A 終活を始めようと思ってスタートしたわけではありません。70歳を過ぎた時、夫に大きな病気が見つかりま

した。その頃から、日常の何気ない会話の中に、生命保険のことや相続のこと、家の名義やお墓の話題が増えてきたように思います。

夫と私、どちらが先に死ぬかはわかりませんが、どちらが残されても同じことができるように、考え方をすり合わせてきました。その中で、自宅や土地、お墓を守っていく長男のことを考えて、残ったお金を3人の子どもたちはどう分けたのかを決めました。子どもたちが後で揉めないように、夫婦の想いを伝えましたが、子どもたちはお金の話になると嫌がります。「夫婦で貯めたお金は夫婦で使いきつて」と言ってくれますが、親心を受け入れてもらいたくて、何度も伝えました。

Q 認知症予備軍と聞いて、終活の考え方は変わりましたか？

A 人生の最期はまだまだ先だと思っていました。が、「早急にしなければならぬ」と思うようになりました。定期預金を解約して銀行

口座を一つにまとめ、加入している保険をリスト化しました。夫には、へそくりのことも話しました。

子どもたちに迷惑をかけたくないとの思いが一番にあるため、菩提寺に永代供養の話聞き、費用や手続きの方法について確認しました。また、いらなくなった衣類や食器を処分したり、大切にしまっていたアクセサリーを娘に渡したりと、断捨離も始めました。自分が病気や介護が必要になった時は、「痛くないように」「延命治療はしない」「ぎりぎりまで自宅で生活したい」と、家族に伝えていきます。今は、亡くなった時に連絡してほしい人などをエンディングノートに書き記し、いずれは遺言書も準備したいと考えています。

身体が元気な間は、日課の散歩や脳トレを続けること、県外に住む家族や友達に会いに行くこと、旅行に行き、おいしいものを食べるのが続けられるように頑張ります。年をとったからと悲観的に生きるのではなく、楽し

く笑って過ごせるようにしたいなと思っています。

Q:終活を始める人に一言お願いします

A:人生の最期は漠然としていて、病気や家族との死別など、何か特別なことが起こらなければ後回しにしてしまいがちです。当たり前ですが、亡くなった後の手続きを自分ですることはできません。誰かに頼らなければならぬので、その誰かの負担が少しでも軽くなり、自分の願いが成し遂げられるように考えをまとめ、必要な準備をしてください。私は、終活を始めたことで、何気なく過ごしていた日々が、意味のある毎日になりました。自分が思っている以上に、家族や人との縁を大切にしていることも気づくことができました。

Aさんの話を聞いて

Aさんからは、病気をきっかけにご自身の人生を振り返り、それまでの過ごし方や

人生の締めくくり方を、前向きに考えておられる様子が伝わってきました。終活となると、相続、遺言、お墓など、しなければならぬ手続きばかりに目がいきがちですが、人生観や死生観などを見直し、何を大切にしたいのか、どう生きたいのかを考えることができる大切な作業だと感じました。

Aさんには家族がおりますが、地域には身寄りがありません。地味な方やいたとしても疎遠で頼ることができずに、悩んでいる方が増えています。本会のかま終活サポートセンターでは、最後の生活や亡くなった後の手続きなどに、不安や心配のある方の相談をお受けしています。

終活相談会の開催をはじめ、多岐にわたる終活の困りごとを、事前に解決するお手伝いをしています。ご自身の終活について考え始めた方、家族に負担をかけたくないと思

っている方、何を準備すれば良いのか分からない方などは、ぜひご相談ください。

嘉麻市社会福祉協議会
かま終活サポートセンター
◆お問い合わせ先
☎0948(43)3511

エンディングノートに書くこと・することチェック

□片づけや身辺整理

- ・衣類や家具、食器などの断捨離
- ・免許返納時期の検討
- ・年賀状じまい
- ・写真の整理

□資産や口座の整理

- ・銀行口座
- ・クレジットカード
- ・保有不動産
- ・有価証券
- ・加入年金
- ・加入保険
- ・保有美術品や貴金属
- ・会費制や月額サービス
- ・ローンや借財など

□医療や介護の方針

□相続人の確認(家系図の整理)

□葬儀やお墓をどうしたいのか

□ペットの引き取り手

□住まいの引継ぎ先

□訃報の連絡先や相談先

□遺言書の作成

□デジタル遺品の整理

□最期までにやっておきたいことの整理



スクールソーシャルワーカーに聞きました！

過去最多となった不登校児童生徒、教育現場の「いま」と「これから」

令和6年度に不登校になった小中学生は、全国で35万人を超え、小中学生30人のうち、約1.2人が不登校状態にあることが文部科学省の調査でわかりました。嘉麻市の不登校発生率は約3.3%で全国平均の約3.9%と比較すると低くなっていますが、様々な理由を背景に適切な教育を受けられない子どもも増えています。

そこで、かまひきこもり相談支援センター職員が、山田中学校区のスクールソーシャルワーカーを務める田口美菜子^{たくちみなこ}さんに、日々の業務で感じていることや不登校支援に求められることを伺いました。



●不登校とは…

前述した調査では、「何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくともできない状況にあるために年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの」と定義されています。



センター はじめに、スクールソーシャルワーカーの役割や田口さんの業務について教えてください。

田口さん スクールソーシャルワーカーは、学校内外の関係づくりや不登校児童生徒への支援（家庭訪問など）、校内の居場所づくりなどの役割を担います。嘉麻市では、福岡県教育委員会の「児童生徒を取り巻く生活環境改善事業」にて、スクールソーシャルワーカーが配置されており、私は令和6・7年度と続けて、毎週金曜日に上山田小学校へ出勤しています。

す。拠点校は上山田小学校ですが、山田中学校、下山田小学校、熊ヶ畑小学校の支援にも携わっています。

セ 近年、不登校の原因にはじめや学習意欲の低下だけでなく、経済的な不安やヤングケアラー問題など、課題が複雑化・多様化していると聞いています。子どもたちの教育機会を保障するために必要なことは何でしょうか。

保障するために、嘉麻市ではどのような取り組みがあるのか教えてください。

田 子どもたちの悩みも家庭環境もそれぞれ違うため、不登校の背景にある課題を整理し、子どもだけではなく、家庭への支援が求められていると感じています。家庭へのアプローチは時間をかけておこなう必要があり、丁寧に支援していきたいのですが、週1日の勤務では、できることに限界があるのも事実です。

田 確井総合支所には、嘉麻市適応指導教室『れすとぴあ』と学習等支援室が開設されており、さまざまな事情によって学校に行くことが難しい児童生徒に対し、必要に応じて教育相談や学習・生活・進路支援などをおこなっています。学校がすべてではなく、このような社会資源が増えれば、より多くの子どもたちが安心して教育を受けられる環境になると考えています。また、子どもたちが居心地よく、校内で過ごすことができる学校づくりにも力を入れています。

セ 本会では、ひきこもり相談窓口を開設していますが、相談者のほとんどが不登校の経験があり、中学校卒業後や高校中退後に、どこに相談してよいの

かわからず、孤独感を感じていたという話を聞きます。早期介入や切れ目ない支援が求められていると感じていますが、田口さんが教育現場や支援機関に望むことはありますか。

田 私は、学校外の機関との連携強化が大切だと感じています。先に伝えたとおり、さまざまな問題が絡み合っているため、学校だけで解決することは難しいです。まずは、先生方に地域にはどんな機関があり、どのような役割を担ってくれるのかを知ってもらえるように働きかけています。また、不登校児童生徒、学校、支援機関をつなぐ、橋渡し役を担うのもスクールソーシャルワーカーとして大切な業務の1つです。在学中にそのネットワークが確立できれば、中学校卒業後や高校中退後、学校の支援が終わったあとも、どこかにつながっているという安心感がうまれるのではないかと思います。

セ 教育機関や様々な支援機関と顔の見える関係を築き、不登校状態にある子どもたち、そ

の子どもを支える家族や先生に「相談してみようかな」と思ってもらえるセンターを目指したいと思いました。そのためには、お互いの役割を認識し、一体となつて支える仕組みをつくっていくことが大切だと感じます。センターとしては、まずは、相談窓口の存在を知ってもらい、中学校卒業後や高校中退後の受け皿の1つになることができるよう努めています。

かまひきこもり相談支援センターの紹介

かまひきこもり相談支援センターでは、自宅中心の生活を送っているご本人やそのご家族からの相談を受けとめ、抱えている課題を一緒に整理できればと思っています。フリースペースや家族会なども開催していますので、少し話を聞いてほしい方、ご家族のことで悩みがある方など、ぜひ一度センターまでご相談ください。

☎0948・43・3511

お風呂でゆったりサロンでおしゃべり

～碓井地区 井土ふれあい・いきいきサロン～

令和7年12月22日(月)、嘉穂福祉センターの一室で行われた井土ふれあい・いきいきサロンにおじゃましました。

現在は6名が参加し、2か月に1回のペースで開催しています。

このサロンは、コロナ禍により女性部の旅行や地域行事の開催が難しくなり、閉じこもりがちになってしまった人が増えたことから、みんなで元気になるつと、令和7年4月に立ち上げました。

午前10時、メンバーのみなさんが嘉穂福祉センターに集まり、まずは、大きなお風呂でゆったり過ごします。お弁当は開催毎にいろいろなお店から注文するため、楽しみの一つとなっています。この日は、参加者の一人がぜんざいを持参され、ふるまわれていました。おなかいっぱいと言っていたみなさんも、甘味は別腹のようです。

食後は、本会が準備した行政区の地図を広げて、高齢者の一人暮らしや困りごとを抱えている人、空き家や危険な場所などを色分けし、見守り活動について考えました。

サロンが終わる午後4時まではおしゃべりの時間で



す。野菜作りや家族のこと、地域の情報交換等、話題は尽きません。代表の吉田八千代さんは、「気心の知れたみなさんと集まって、おしゃべりするのには本当に楽しいです。これからも大切な集まりの場として、サロンを続けていきたいです」と話されました。

自宅で簡単!!

無理なく続けるストレッチ

この時期は寒さや雪などの影響もあり、外出することがおっくう^{らそうむ}になったり、散歩をためらってしまい、運動量が減っている方もおられるのではないのでしょうか。そこで、良創夢デイサービスセンター嘉麻店の作業療法士に自宅内で簡単にできるストレッチを紹介してもらいましたので、ぜひ、チャレンジしてみてください。

※ストレッチ中、痛みを感じた場合は無理をしないようにしてください。

①スクワット(膝の屈伸運動)



椅子等につかまり、上下にしゃがみます(10回)
膝はつま先より前に出さず、お尻を突き出す
ように行うのがポイントです

②つま先立ち



ふくらはぎに力を入れて、
かかとを浮かせます(10回)

③股関節を広げる運動



手を膝に付けて肩を内側に入れ、10秒間体勢をキープします(左右10秒ずつ2セット)

④足踏み



左右逆の肘と膝を突き合わせるように、足踏みを行います
背筋はしっかり、伸ばしてください(左右交互に10セット)

成年後見 Q&A



Q

認知症と診断されました。任意後見契約は締結できますか。

A

初期の認知症で本人の意思能力が残っていると判断されれば、任意後見契約は締結できます。

判断するのは、任意後見契約書を作成する公証人です。公証人は医師の診断書、関係者の供述等を参考にして、慎重に判断して決めます。

嘉飯桂地区社会福祉協議会職員連絡会職員研修

読み手の心をつかむ

～地域活動職員研修会で広報紙づくりを学ぶ～

令和7年12月3日(水)、飯塚市社会福祉協議会穂波支所で、より魅力的な広報紙づくりを学ぶ研修会を開催しました。講師に宮若市秘書政策課秘書広報係の端倉大輝さんをお招きし、2市1町の社協職員15名が集い、本会からは4名が参加しました。

宮若市が令和6年12月1日に発行した広報紙は公益社団法人日本広報協会が主催する全国広報コンクールで入選し、端倉さんはこの年の4月から広報の主担当として制作に携わっています。

前半は、端倉さんが意識している基本的なことを教えてもらいました。誰でも見やすい文字を使用し、字の大きさを変えて強調をつけたり、時には文字だけのインパクトがある表紙を作ったり、人物や活動をとことん取材し、読み手に書き手の思いをわかりやすく伝えることなどを学びました。



講師 端倉 大輝さん

後半は、各社協がこれまでに発行した広報紙を見てもらいました。あえて余白をいかし、読みやすくしたり、写真は撮る方向を意識し、人の向きや視線を中心に向けるなど、アドバイスをもらいました。

広報紙は、社協の活動内容を住民のみなさんに知ってもらう、地域福祉を推進する仲間を増やしていくための大切なツールです。この学びをいかし、手に取って読んでもらえる広報紙をつくっていききたいと思っています。

一人で悩まない終活とは

～新人職員研修会を開催～

本連絡会では、職員の資質向上と相互連携を図るため、定期的に研修会や情報交換を行なっており、入職5年以内の職員が集まって意見交換をしました。そのなかで、最近身寄りがいない、いたとしても疎遠で頼ることができない方からの相談が増えており、経験が少なく、対応に苦慮しているとの声が上がりました。

そこで、令和7年12月10日(水)、桂川町社会福祉協議会にて、終活について学ぶ研修会を開催し、9名(本会からは3名)が参加しました。講師には、終活パートナー九州代表の眞武純哉さんをお招きし、終活で行うことやエンディングノートの書き方について話を聞きました。

人生の最期を考える際に、誰にも相談できず一人で抱え込んでしまう人が多いため、家族や周囲の人と話し合いながら決めていくことが必要です。「終活」は支え合うための準備であり、「集活」と考えてほしいとの話がありました。

また、エンディングノートには法



講師 眞武 純哉さん

的効力はありませんが、準備することが項目ごとに整理でき、自分の考えや気持ちも人に伝えることができます。手続きをしてくれる残された家族や周りの人の思いを聞いておくこと、また、生活状況によって気持ちが変わることもあるため、書いて終わりにするのはなく、定期的に見直していくことが大切であると学びました。

職員同士で集まって話し合うなかで、他社協の取り組みや寄せられている相談を知ることができ、本市の地域課題についても考えることができました。今後もお互いに刺激し合いながら、住民に頼られる職員になっていきたいと思っています。

かまボランティア・市民活動センター情報

かまボランティア・市民活動センター
TEL:0948-43-3511 FAX:0948-43-3450

平常時の連携強化がカギ

～災害協定団体との意見交換会を開催～

令和7年12月16日(火)、本会会議室にて「第2回 災害協定団体意見交換会」を開催しました。当日は、嘉麻市防災対策課・市民課、飯塚市防災安全課、桂川町総務課・健康福祉課、飯塚青年会議所、稲築・山田ライオンズクラブ、飯塚市社会福祉協議会、桂川町社会福祉協議会、本会職員の計14名が参加しました。この会は、災害発生時に円滑な連携が図れるように、平時から顔の見える関係づくりを進めることを目的としており、令和7年5月に第1回を開催しましたが、災害時には広域での連携が必要となるため、今回は飯塚市や桂川町の行政、社協にも参加を呼びかけました。

はじめに、令和7年度の災害支援活動について、各団体に聞きました。昨年8月の大雨では、県内でも福津市や宮若市などに災害ボランティアセンターが開設されました。飯塚青年会議所やライオンズクラブは災害ボランティアとして活動し、飯塚市社協は、8月27日・28日に福津市災害ボランティアセンターへ職員を派遣したそうです。また、各行政からは、大雨の際に避難所を開設した話がありました。

続いて、災害ボランティアセンター立ち上げ時の「初動対応」をテーマに意見交換を行いました。ライオンズクラブや青年会議所からは、水中ポンプやサーキュレーターなどの資機材の提供や人的支援ができたの話があり、心強いと感じました。また、災害ボランティアセンターで必要とされる資機材は多岐に渡るため、応援してくれる企業や団体とのつながりを増やしていくことが大切だと共有しました。

今後の意見交換会については、実際に災害を経験した地域の社会福祉協議会や行政担当者から話を聞く機会を持ち、今後の取り組みの参考にしたいとの意見が出ましたので、定期的を開催しながら、地域の防災力向上と災害支援活動にいかしていきたいと思います。



けがや事故など、活動中の「もしも」に備えて

令和8年度のボランティア活動保険の加入受付が始まります

ボランティア活動保険は、「ボランティア活動中にけがをした」「活動中に誤って他人の物を壊してしまった」「他人にけがを負わせてしまった」など、万が一の事故を補償するもので、①基本プランと②地震・噴火・津波による死傷にも対応した天災・地震補償プランの2種類があります。活動の内容によっては、保険の対象とならない場合もありますのでご注意ください。令和7年度に加入された方も、3月31日に補償期間が終了するため更新が必要です。また、初めて加入される方は本会への登録が必要となります。

詳しくは、かまボランティア・市民活動センターまでお問い合わせください。

- ◆受付開始日：令和8年3月2日(月)
- ◆補償期間：加入日の翌日～令和9年3月31日まで
(令和8年3月31日以前に加入受付をされた場合は、4月1日からの補償開始となります)
- ◆年間保険料：①基本プラン 350円 ②天災・地震補償プラン 500円

お問い合わせ先 社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会
かまボランティア・市民活動センター ☎0948-43-3511

法人経営 INFORMATION

第92回理事会 <<開催日>>令和7年12月10日(水)

【議案第325号】規程等の一部改正について

【議案第326号】令和7年度第二次補正予算案について

【議案第327号】法人設立20周年記念事業 ほっとけんばいの輪づくり運動 シンボルマークの決定について

【議案第328号】第58回臨時評議員会の開催について

【報告第108号】定款第21条第4項に係る理事会報告事項について

第58回臨時評議員会 <<開催日>>令和7年12月23日(火)

【議案第136号】令和7年度第二次補正予算案について

【報告第45号】法人設立20周年記念事業 ほっとけんばいの輪づくり運動 シンボルマークの決定について

法人設立20周年記念式典を開催

～地域のみなさまに支えられた20年に感謝～

本会は、平成18年3月1日に、旧1市3町(山田市・稲築町・碓井町・嘉穂町)の社会福祉協議会が合併して発足し、令和8年3月1日で法人設立20周年を迎えます。歴代の役員・評議員を始め、本会の活動に賛同して加入いただいた会員、行政・関係機関、社会福祉施設・団体、地域の住民組織、ボランティア・NPO団体など、様々な関係者のみなさまに支えられながら歩みを進めてきました。

これまで、本会の発展や地域福祉の向上にご尽力いただいたみなさまに感謝の意を伝えるとともに、次なる10年に向けて、本会が今日の社会状況を踏まえ、住民主体と協働のもとに、どのような地域社会を目指して活動するのかを明確なメッセージとして発信するために、記念式典及び記念講演を実施しますので、ぜひご参加ください。

◆日時：令和8年2月14日(土) 13時～16時30分(受付12時～)

◆場所：なつき文化ホール(嘉麻市岩崎63番地8)

◆内容：第一部 記念式典 13時～(受付12時～)

第二部 記念講演 14時45分～(受付14時15分～)

タイトル:つながること、たよること
～孤立を防ぐ処方せん～

講師:日本福祉大学 ^{きくち} 菊池 ^{りょう} 遼さん



◎講師紹介◎

宮城県仙台市出身。専門は市民社会論・災害福祉論で、東日本大震災を機に被災地支援に関わり、震災復興過程のNPOやまちづくりに関する研究を行う。

2019年に日本福祉大学社会福祉学部着任、現在は講師を務める。

【お詫びと訂正】 前号(No.184)の2ページ下部「法人設立20周年記念式典を開催」の内容に誤りがありました。正しくは以下の通りとなります。

(誤)◆内容:第一部 記念式典(受付13時～)

第二部 記念講演(受付14時45分～)

(正)◆内容:第一部 記念式典(13時～)

第二部 記念講演(14時45分～)

以上、深くお詫びして訂正させていただきます。

令和8年 2月・3月・4月の

総合相談

要予約
無料

法律相談

1組30分間まで

とき 2月5日(木) 13時～16時

ところ 稲築地区公民館

とき 3月5日(木) 13時～16時

ところ ふれあいハウス

とき 4月2日(木) 13時～16時

ところ 稲築地区公民館

公証人による無料相談

(遺言、養育費、任意後見など)

1組1時間まで

とき 2月10日(火) 13時～16時

ところ 稲築地区公民館

とき 4月14日(火) 13時～16時

ところ 稲築地区公民館

終活相談会

(相続、遺言、任意後見契約、死後事務委任など)

1組1時間まで

とき 3月10日(火) 13時～16時

ところ 稲築地区公民館

※相談予約は前日の17時までにお願ひします。

《お問い合わせ先》

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

☎0948-43-3511

ご案内

在宅介護者の集い

在宅で介護をされている方々が、いろんな情報交換をつうじて、楽しくリフレッシュしています。

●2月19日(木)

稲築地区公民館(岩崎1141番地)

●3月19日(木)

ふれあいハウス(上山田502番地6)

●4月16日(木)

稲築地区公民館(岩崎1141番地)

※時間はいずれも13時～1時間程度です。

※日時や会場が変更になることもありますので、事前にご連絡ください。

嘉麻市認知症家族の会

認知症の方を介護しているご家族が集まり、お互いの体験や情報交換をしています。

●2月21日(土)

●3月21日(土)

●4月18日(土)

※開催場所はふれあいハウス(上山田502番地6)です。

※時間は13時30分～1時間程度です。

※日時や会場が変更になることもありますので、事前にご連絡ください。

《お問い合わせ先》

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-43-3511

E-mail:tiiki@kama-shakyo.com

かまひきこもり相談支援センターからのご案内

かまひきこもり相談支援センターでは、ひきこもり状態にある方やそのご家族からの相談をお受けし、気持ちに寄り添った支援ができるよう心がけています。

家から一歩外へ出て、自由に過ごせるフリースペースやご家族でなければわからない悩みや経験を共有できる家族会も相談者のご都合に合わせて開催していますので、ぜひ、センターまでお問い合わせください。

《お問い合わせ先》 社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-43-3511

E-mail:kizuna@kama-shakyo.com

【上臼井下】
親族 故 福田 武 喜修 様
親族 故 福田 喜志夫 様

【下臼井東】
親族 故 松岡 和多 八重子 様
親族 故 松岡 英二 様

【平東】
親族 故 亀川 直道 幸 様
親族 故 亀川 直道 幸 様

【漆生本村】
親族 故 野見山 孝和 義 様
親族 故 野見山 孝和 義 様

香典返し

10月1日～12月31日受付分

香典返し・寄附

みなさまの善意、
心より厚く
お礼申し上げます

【東馬見】

親族 縄 田 徳子 様
故 縄 田 利 幸 様

【リングブル】

熊ヶ畑第二 石橋 和稔 様
下宮 三好 邦央 様
中益 野見山佳乃 様
匿名 様

一般寄附

【市外】

嘉穂の名水愛好者一同 様

物品寄附

【子育てリユース】

漆生東 坂本 真一 様
済生会飯塚嘉穂病院 様

【古切手】

誠心園 様
かま手話の会 様
ビューティーハウスあさひ 様
在宅介護者の集い「ニコニコ」 様
里親支援センターそわか 様
筑豊印刷(株) 様

【アルミ缶】

漆生東 匿名 様
〇春 高木久美子 様
平第二 西坂 勝正 様
尾浦第一 石井 元彦 様
天神 愚童の庵 様
下宮 三好 邦央 様
木城 田辺 信幸 様
中益 野見山佳乃 様
下牛隈 矢羽田盛吉 様
鴨生北町行政区8組 様
(有)小西モーターズ 様
匿名 様

あなたの会費が、
社協の地域活動を
支えています

会員として、次の方々に

ご加入いただきました。

(敬称を省略させていただきます。)

(順不同で掲載しています。)

10月1日～12月31日受付分

【〇春】

久恒玲子(2〇)、諫山康敏、江
〇紀子、福澤祐亮、永川義彦、
山下昌司、石川陽士、井手ヒサ
ヨ、出水文子、橋本武彦、中原
一雄、山崎清、藤本誠

【山野第二】

西出末子(2〇)

【樋渡】

藤春英樹、松本美喜男、大谷直
美、藤春幸子、藤春正記、藤春
ヒフミ、藤春笑子、藤春康彦、

【原町】

岸明美、松岡久邇子、國本美紀
子、高野敏寛、柴田晴吉、高倉
純子、松井晴枝、山木正夫

【猪之鼻】

江藤ヒサ子、原田一義

【三菱第一】

宮川富士男、上村洋子

【三菱第二】

小澤信雄、辻岡昭子

【貞月】

縄田洋明、縄田緑

【下牛隈】

矢羽田泰江(5〇)

【大力】

石川頼子、石寄博子、内田とみ

子、権藤吉恵、坂口悦子、城貞

子、中村志登美、中村美智子、

美林美保子、村上信子、山本美

代子

【西馬見】

縄田和之、縄田由紀子



手紙

No. 185



福岡市在住
はやしだ
林田 スマ さん
旧嘉穂町出身



大好きな 大隈の山と川

高くそびゆる馬見山
流れも清き嘉麻川の
ここに立ちたる学び舎は
これぞ我等の大隈校

故郷の景色を思い出す度に、いつも大隈小学校の校歌が心の中を流れます。子どもの頃、写生は馬見山、屏山、古処山の嘉穂アルプス、メダカを追いかけるいちばんの遊び場は嘉麻川でした。小学校6年生の時家庭の事情で福岡市に引っ越さなければならなかった私にとって、7歳になった今も大隈が私の原点であり大切な心の拠り所なのです。

福岡市は、今天神ビッグバンとやら、新しい高層ビルが立ち並び、流行の最先端も外国人観光客も街に溢れています。便利で賑やか、快適な暮らしができる素敵な都会になりました。

しかし、昨年秋も、上西郷の善照寺にお彼岸参りをして、改めてふるさとの温もりと安心感に包まれる幸せを感じたのです。先祖を思い、祖母や母の言葉が蘇り、越し方行く末に思いを巡らせる時間を過ごしました。

「この梨は三十三世紀ですバィ」と祖母がいつも自慢していた二十世紀梨、大好きな寒北斗のお酒、そして、安くて新鮮な野菜や果物、たくさんのお宝を手は大隈を後にしました。

知り合いにお土産を差し出しながら筑豊自慢を繰り返し、RKBラジオで担当している番組でも、八木山トンネルを抜けて目の前に広がる筑豊の風景を熱く語る私でした。

社会環境が目まぐるしく変化する中、変わらない景色にひと安心しながらも、ふるさと応援団としては、これから嘉麻市らしい発展や活性化を心から願っているところです。

編集後記



しんじ

2000年に始まった成年後見制度ですが、20年以上が経過し、色々な課題が生じています。現在、2026年以降の見直しにむけて検討されていますので、しっかりと情報を得ていきたいとします。



おがわ

終活サポートセンターが始まって2年。相続や遺言、老後の生活など、様々な不安や悩みをお聞きしてきました。今号では、認知症予備軍と言われたAさんの終活について話を聞いています。



さかもと

P5では「井土ふれあい・いきいきサロン」を紹介しています。入浴、食事、談笑と朝から夕方にかけて開催するスタイルは新たなサロン活動の在り方だと感じました。



よしだ

P7で報告した広報紙研修では、講師から「作り手が感動しないものに読み手が感動するはずがない」との話がありました。こちらの想いがみなさんへ伝わる広報紙作りに努めたいと思いました。



かく

田口さんは、校内にフリールームを開設するなど、楽しい、行きたいと思える学校づくりに尽力されており、子どもたちにもスクールソーシャルワーカーの存在を知ってほしいと話されました。



ながすえ

終活に限らず、悩みや不安を誰にも相談できず、1人で苦しんでいる方がおられます。ご本人の考えや思いをお聞きし一緒に考えることが大切だと改めて思いました。

社協だよりクイズ



「広報紙えがお」を読んで、次のクイズにお答えください。正解者の中から抽選で図書券(千円分)を2名の方にプレゼントします。

問題

碓井総合支所には、さまざまな事情によって学校に行くことが難しい生徒に対し、適応指導教室が開催されていますが、その教室の名称は？

- (1) れすとぴあ
- (2) ずーとぴあ
- (3) ちけっとぴあ

応募方法

①クイズの答え、②広報紙の感想、③郵便番号・住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号をご記入の上、令和8年4月30日(必着)までにハガキ、またはEメールにてご応募ください。

送付先

〒821-0012 嘉麻市上山田502番地6
嘉麻市社会福祉協議会
E-mail: tiiki@kama-shakyo.com

前号のクイズの答え

(2) 令和8年2月14日
法人設立20周年記念式典を、なつき文化ホールにて開催しますので、ぜひご参加ください。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。